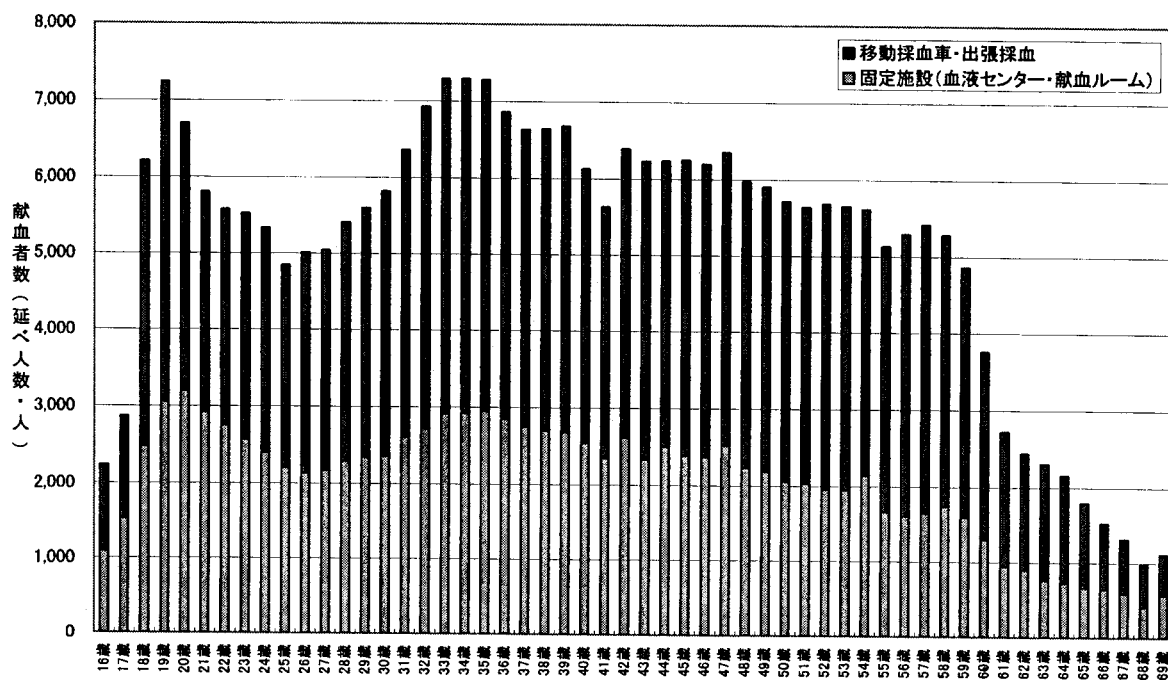


年齢・施設別延べ献血者グラフ【6都道府県抜粋】

H19年 北海道内の施設別献血者数



- 延べ総献血者数 276,823人

移動採血車・出張採血 166,157人 (60.0%)

固定施設(血液センター・献血ルーム) 110,644人 (40.0%)

- 年齢別に見る施設別献血者数

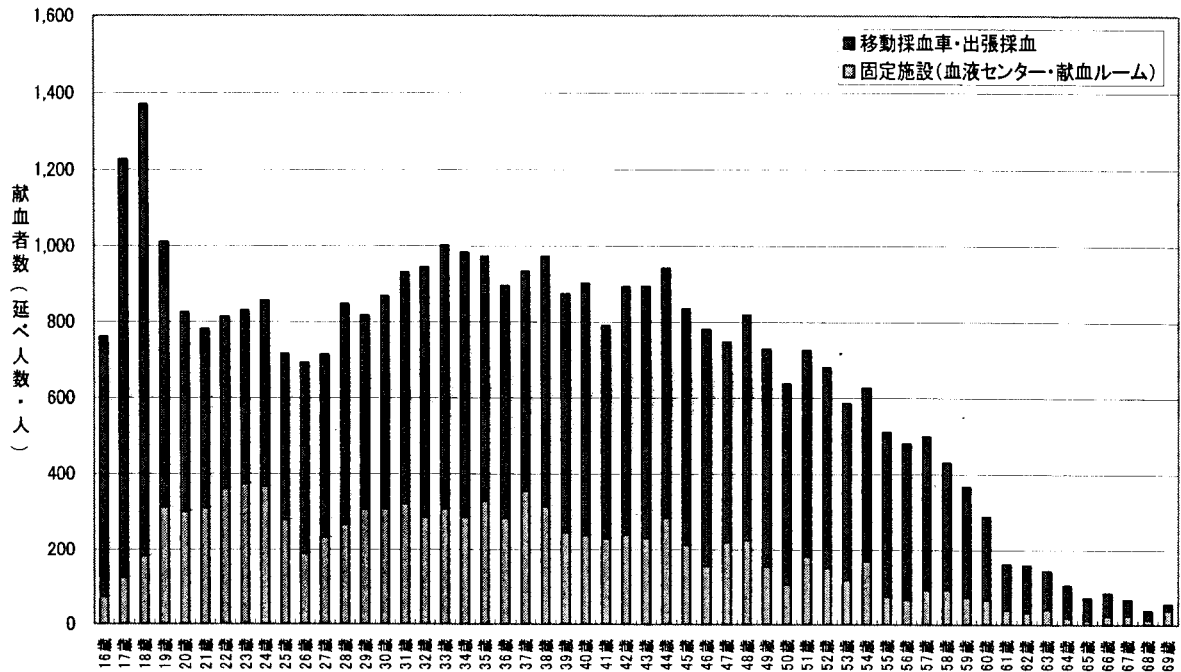
16～23歳は18、19歳を除き固定施設の割合がおおむね50%前後だが、18、19歳と20歳代後半～68歳は移動採血車・出張採血の割合が60～70%。

- 血液センター、献血ルーム数(平成20年4月1日現在)

血液センター：5カ所

献血ルーム：6カ所

H19年 山形県内の施設別献血者数



● 延べ献血者数 36,705人

移動採血車・出張採血 26,395人（71.9%）

固定施設（血液センター・献血ルーム）10,295人（28.1%）

● 年齢別に見る施設別献血者数

20歳代前半を除き、移動採血車・出張採血の割合が65～90%。

中でも16～18歳と50歳代後半～60歳代前半に移動採血車・出張採血の割合の高い年齢層（80～90%）が見られる。

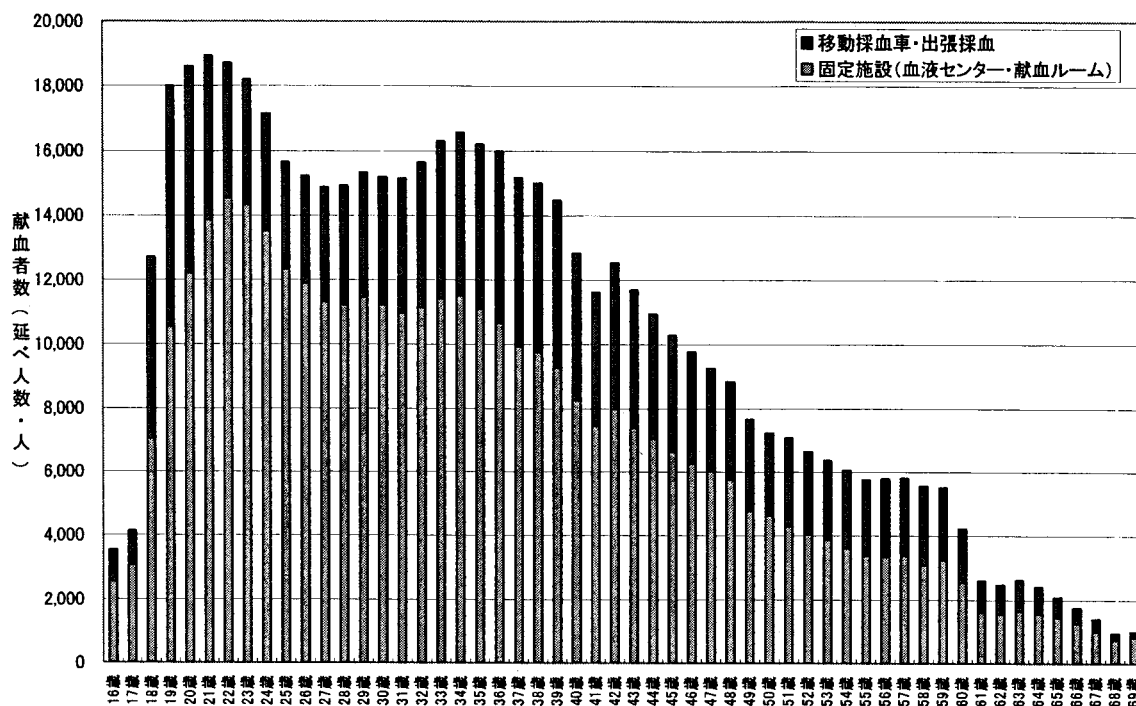
20～25歳は、他の年齢に比べて移動採血車・出張採血の割合が55～63%とやや低くなっている。

● 血液センター、献血ルーム数（平成20年4月1日現在）

血液センター：1カ所

献血ルーム：1カ所

H19年 東京都内の施設別献血者数



● 延べ献血者数 550,525人

移動採血車・出張採血

175,198人(31.8%)

固定施設(血液センター・献血ルーム) 375,291人(68.2%)

● 年齢別に見る施設別献血者数

全年齢を通して固定施設の割合が55%を超えており、特に16、17歳、20歳代前半～30歳代前半、60歳代後半は固定施設の割合が70%超と高い。

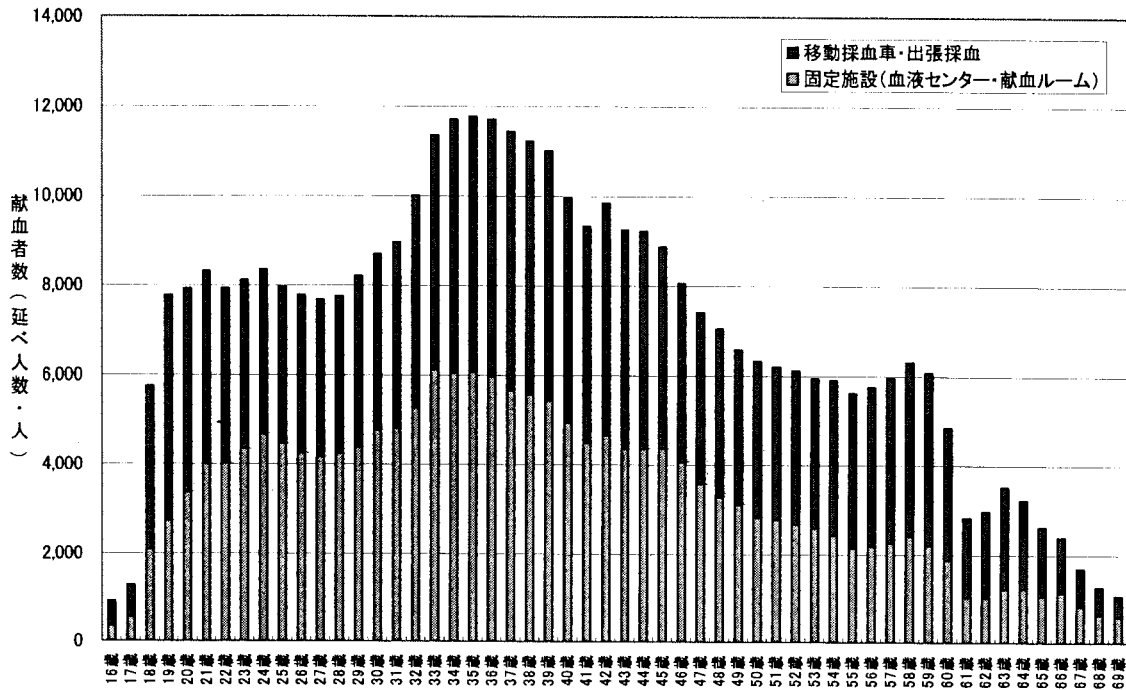
一方、18、19歳と50歳代後半は固定施設の割合が55～59%とやや低い。

● 血液センター、献血ルーム数(平成20年4月1日現在)

血液センター：2カ所

献血ルーム：12カ所

H19年 大阪府内の施設別献血者数



● 延べ献血者数 375,972人

移動採血車・出張採血 196,259人(52.2%)

固定施設(血液センター・献血ルーム) 179,688人(47.8%)

● 年齢別に見る施設別献血者数

20歳代～30歳代前半と69歳は固定施設の割合が50～56%。

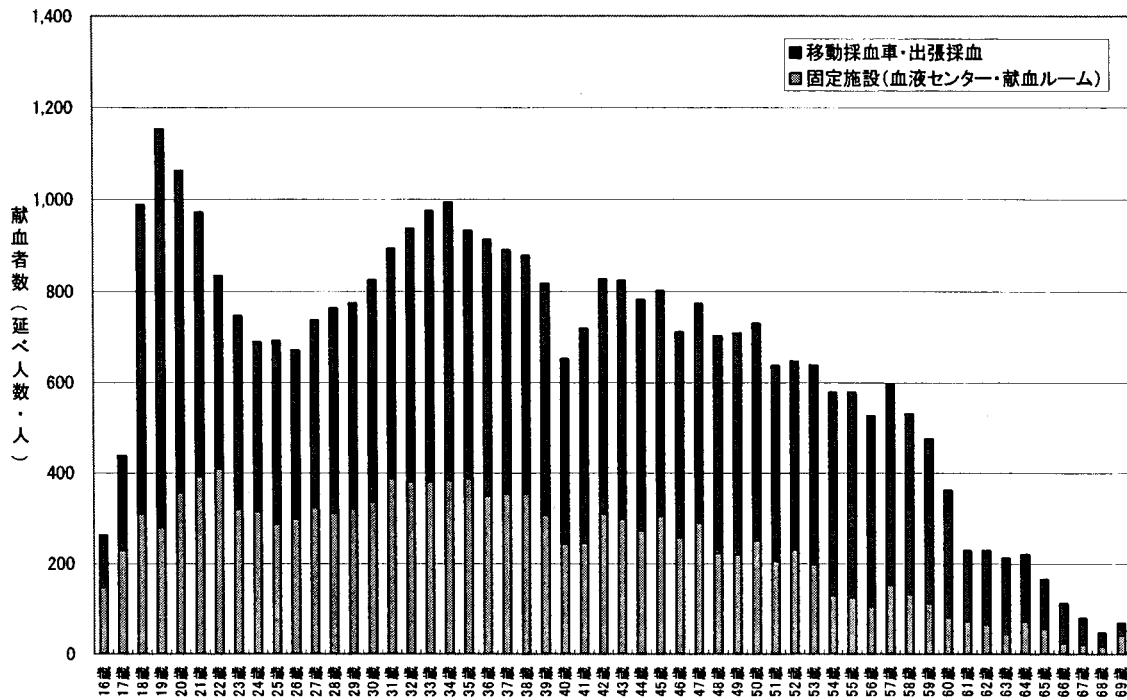
一方、16～19歳、50歳代後半～60歳代前半は、移動採血車・出張採血の割合が59～65%とやや高い。

● 血液センター、献血ルーム数(平成20年4月1日現在)

血液センター：3カ所

献血ルーム：9カ所

H19年 高知県内の施設別献血者数



● 延べ献血者数 35,021人

移動採血車・出張採血 22,287人 (63.7%)

固定施設(血液センター・献血ルーム) 12,715人 (36.3%)

● 年齢別に見る施設別献血者数

16、17、69歳で固定施設の割合が52～60%であることを除き、移動採血車・出張採血の割合が高い(おおむね60～70%代後半)。

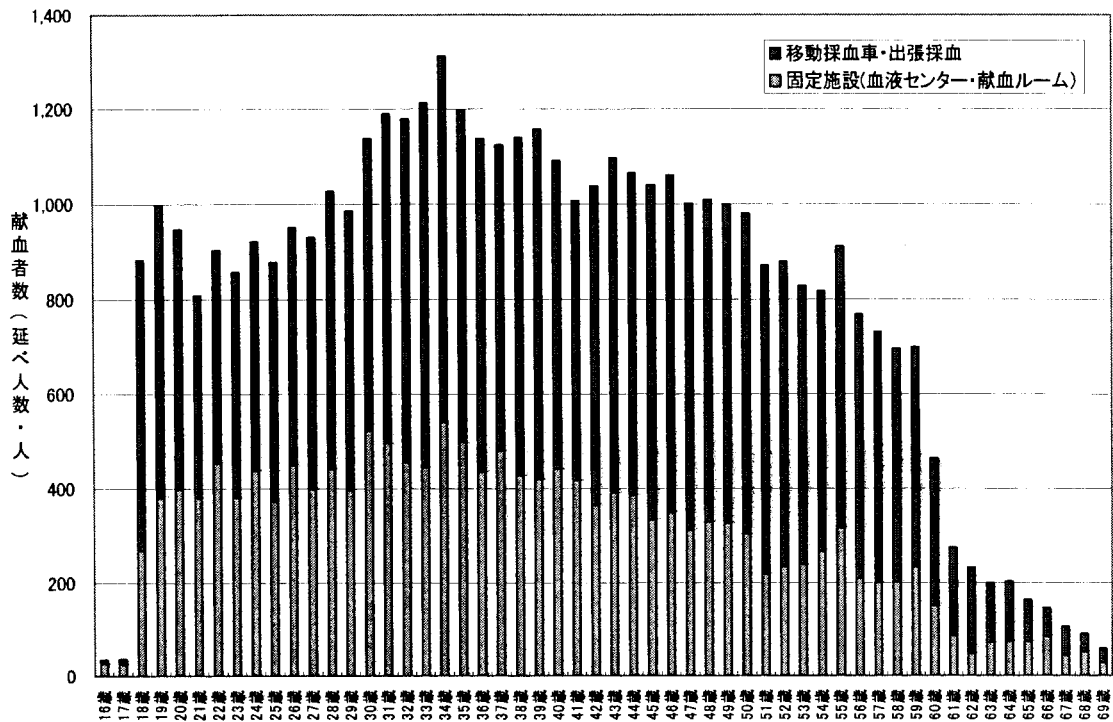
19歳と50歳代後半～60歳代後半にかけて、移動採血車・出張採血の割合が高い年齢層(74～79%)が見られる。

● 血液センター、献血ルーム数(平成20年4月1日現在)

血液センター：1カ所

献血ルーム：1カ所

H19年 宮崎県内の施設別献血者数



● 延べ献血者数 43,497人

移動採血車・出張採血 27,164人 (62.5%)

固定施設(血液センター・献血ルーム) 16,312人 (37.5%)

● 年齢別に見る施設別献血者数

16歳、17歳で固定施設の割合が75.0%、67.6%と高いことを除き、特に50歳代から60歳代前半にかけて、移動採血車・出張採血の割合が高い年齢層(おおむね60~70%代後半)が見られる。

● 血液センター、献血ルーム数(平成20年4月1日現在)

血液センター: 1カ所

献血ルーム: 1カ所

わが国の採血基準

平成20年10月現在(平成11年最終改正)

項目	全血採血		成分採血	
	200mL全血	400mL全血	血漿	血小板
1回採血量	200mL	400mL	300mL~600mL (体重別)	400mL以下
年齢	注)16歳~69歳	注)18歳~69歳	注)18歳~69歳	18歳~54歳
体重	男性45kg以上 女性40kg以上	男女とも 50kg以上	男性45kg以上 女性40kg以上	
最高血圧	90mmHg以上			
血液比重等	血液比重1.052以上 又は血色素量 12g/dL以上	血液比重1.053以上 又は血色素量 12.5g/dL以上	血液比重1.052以上 又は血色素量 12g/dL以上 (赤血球指数が標準域 にある女性は11.5g/dL以上)	血液比重1.052以上 又は血色素量12g/dL以上
血小板数	—	—	—	15万/μL以上 60万/μL以下
年間採血回数	男性6回以内 女性4回以内	男性3回以内 女性2回以内	血小板成分採血1回を2回分に換算して血漿成分採血と合計で24回以内	
年間総採血量	200mL全血と400mL全血を合わせて 男性 1,200mL以内 女性 800mL以内		—	—
共通事項	次の者からは採血しない ①妊娠していると認められる者、又は過去6ヶ月以内に妊娠していたと認められる者 ②採血により悪化する恐れのある循環器系疾患、血液疾患その他の疾患にかかっていると認められる者 ③有熱者その他健康状態が不良であると認められる者			

注)65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までの間に献血の経験がある方に限られる。

(採血の間隔)

前回の採血	全血採血		成分採血	
	200mL全血	400mL全血	血漿	注)血小板
200mL全血	男女とも4週間後の同じ曜日			
400mL全血	男性は12週間後、女性は16週間後の同じ曜日		男女とも8週間後の同じ曜日	
血漿成分採血	男女とも2週間後の同じ曜日			
血小板成分採血				

注)血漿を含まない場合には、1週間後に血小板成分採血が可能。ただし、4週間に4回実施した場合には次回までに4週間以上あける。

(平成20年度版血液事業報告より抜粋)

1. 全血採血基準

	年齢	下限	上限	1回の採血量	体重(下限)	ヘモグロビン量(下限)	採血間隔	年間採血回数	年間総採血量
EU	18歳～65歳	国の法律によっては17歳も考慮	60歳以上の初回者(施設の医師の判断に任せる) 65歳を超えても責任医師の許可により継続できる	500mL以内 *1)	50Kg	男性: 13.5g/dL 女性: 12.5g/dL	最短 8週間	男性6回 女性4回	3L
				450 mL±10% 血液量の13%を超えない*2)		男性: 13.5g/dLまたは Ht40% 女性: 12.5g/dLまたは Ht38%	推奨 2か月	推奨 男性4回 女性3回	
英国	17歳～65歳	17歳は未成年なので同意書が必要 *	60歳以上の初回者(施設の医師の判断に任せる) 65歳を超えても毎年医師の許可があれば延長できる)	470mL		男性: 13.5g/dL(1.055) 女性: 12.5g/dL(1.053)	最短 12週 推奨 男性12週 女性: 16週	3回	
フランス	18歳～65歳		初回者は60歳まで	450mL		男性: 13.0g/dL 女性: 12.0g/dL	8週間	男性5回 女性3回	
米国	17歳(16歳)～上限なし	16歳の受け入れは各州法による。現在50州のうち27州が受け入れ(2008年9月時点)ただし供血には保護者の同意が必要	なし	500mL以内(検体等で538ml) 体重当たり 10.5mL/Kgを超えない	一応50 Kg以上 (それ以下でも可)	12.5g/dLまたはHt38%	8週間 (医師が認めれば更に短縮可能)		すべての採血種類を合計して、体重50～80kgの供血者では12Lまで 体重80kgを超える供血者では14.4Lまで
台湾	17歳～65歳	17歳未満は保護者の同意があれば可能	65歳以上は医師の同意があれば延長できる	500mL	60kg	男性: 13.0g/dL 女性: 12.0g/dL	3か月		男性: 1.5L 女性: 1L
				250mL	男性: 50kg 女性: 45kg		2か月		
日本	400mL: 18歳～69歳		65歳以上は60歳～64歳の経験者	400mL	50Kg	12.5g/dL	男性: 12週 女性: 16週	男性: 3回 女性: 2回	男性: 1.2L 女性: 0.8L
	200mL: 16歳～69歳			200mL	男性45Kg 女性40Kg	12.0g/dL	4週間	男性: 6回 女性: 4回	

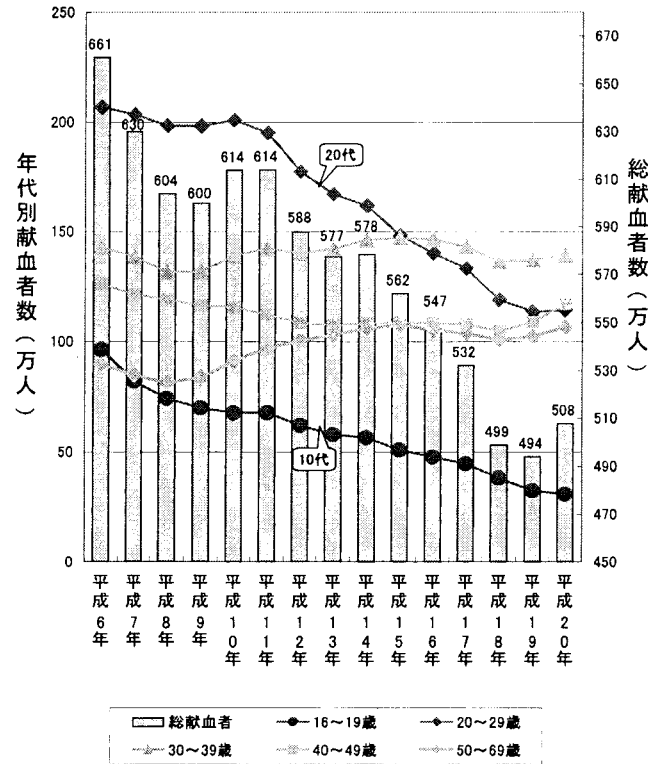
*採血適否判定者により供血プロセスを理解する知識があると認められ、インフォームドコンセントを提出した場合、あるいは保護者の書面による同意がある場合：血液の安全性および品質に関する規則2005

2. 成分採血基準

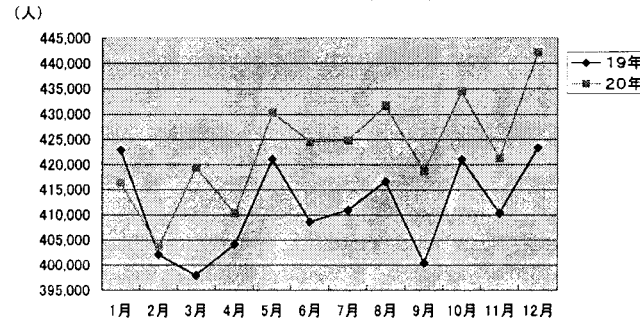
国名	種類	1回の採取血漿量	可能年齢	体重	年間採血回数	採血間隔	年間総採血量	血漿タンパクおよび血小板	
EU	血漿	最大650mL (抗凝固剤を除く) 循環血液量の13%	全血と同様	全血と同様	/	通常2週間 少なくとも2日間、1週間に2回 を超えない 原則2週間 但しHLA/HPA適合の場合は 除く	血漿収量(抗凝固剤を除く) 年間25L 1週間に1.5Lを超えない	血漿蛋白6.0 g/dL(年1回以上 実施)	Hb測定も
	血小板	最大650mL (抗凝固剤を除く)						血小板数15万/ μ L以上	
英国	血漿	循環血液量の15%以内 (抗凝固剤を除く)	18~65歳(初回は60 歳まで)	50kg以上 (但し50~60kgでは 循環血液量の20%を 超えない)	24回	通常2週間 少なくとも2日間、1週間に2回 を超えない 通常2週間 少なくとも2日間、1週間に2回 を超えない	血漿収量:年間15L 1カ月に2.4Lまで	血漿蛋白6.0 g/dL(年1回以上 実施)	Hb測定も
	血小板	循環血液量の15%以内 (抗凝固剤を除く)	成分採血にはイン フォームドコンセント が必要					血小板数15万/ μ L以上	
フランス	血漿	650mL	全血と同様	全血と同様	20回	通常2週間	/	血漿蛋白6.0 g/dL(年1回以上 実施)	Hb測定も
	血小板	600mL			5回			4週間	
米国	血漿	50-67kgの人は625mL 78-79kgで750mL (抗凝固剤を除く)	全血と同様 成分採血にはイン フォームドコンセント が必要	50kg	年間24回	少なくとも2日間、1週間に2回 を超えない	/	血漿蛋白6.0 g/dL(年1回以上 実施)	Hb測定も
	血小板	500mL 80kg以上は600mL (抗凝固剤を除く)						血小板数15万/ μ L以上	
台湾	血漿	500mL	全血と同様	50kg	/	2週間	12L	血漿蛋白6.0 g/dL	Hb測定も
	血小板	/						血小板数15万/ μ L以上	
日本	血漿	300mL~600mL (体重別)	400ml献血と同様	男性:45kg以上 女性:40kg以上	血小板採血1回を 2回分に換算して 血漿採血と合計で 24回	2週間	/	血小板数15万/ μ L以上	Hb測定も
	血小板	400mL以下	18~54歳					血小板数15万/ μ L以上	

献血者数の推移

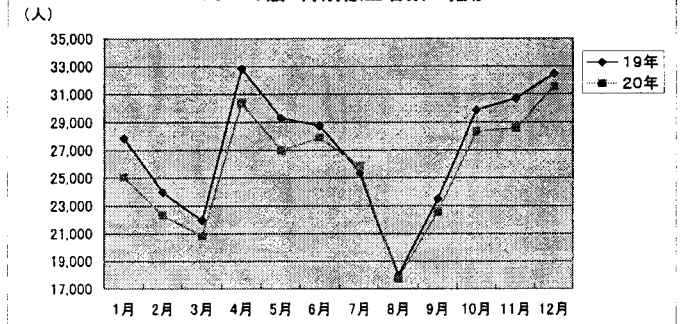
献血者の推移



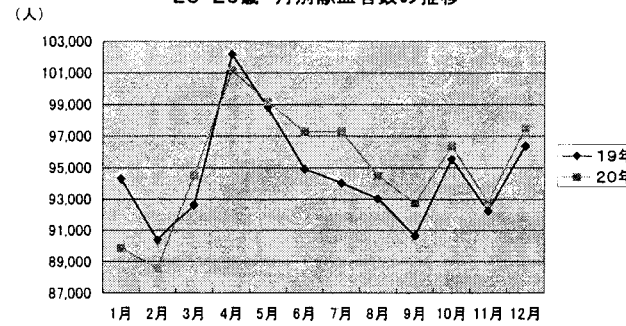
全年齢 月別献血者数の推移



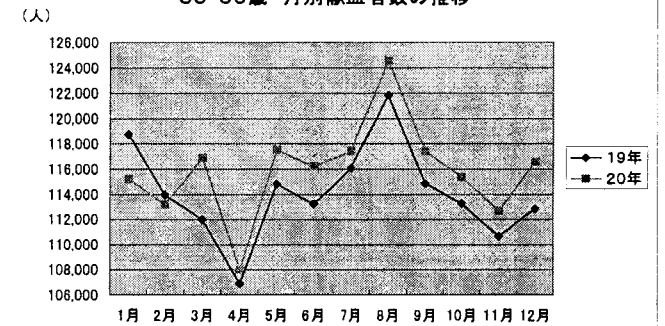
16-19歳 月別献血者数の推移



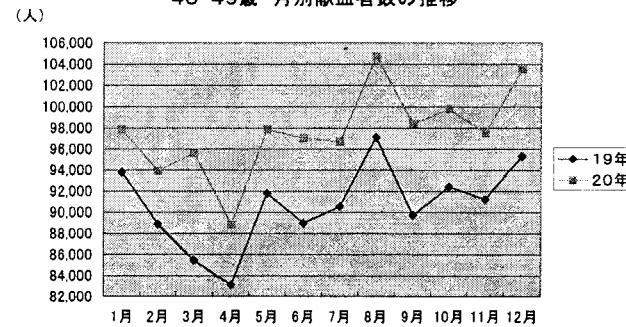
20-29歳 月別献血者数の推移



30-39歳 月別献血者数の推移



40-49歳 月別献血者数の推移



50-69歳 月別献血者数の推移

